

小規模企業の景況

(2024年10～12月期)

大阪商工会議所による小規模企業の景況調査(四半期毎)2024年10～12月期の結果概要は以下の通り。今期(2024年10～12月期、調査基準日:11月15日)の業況判断DIは▲22.4(前回調査▲19.1)となり、2期連続して低下した。売上額DI値は▲17.2(前回調査から3.3ポイント低下)、資金繰りDI値は▲19.0(前回調査から4.4ポイント低下)、従業員数過不足DI値は▲14.5(前回調査から8.6ポイント低下)となった。「経営上の問題点」では、「仕入単価の上昇」が小売業で10期連続第1位、卸売業で3期連続第1位、「原材料価格の上昇」が製造業でも3期連続第1位となり、3業種で単価上昇が共通課題となった。

1. 今期(2024年10～12月期)の状況

【売上額】今期(2024年10～12月期)の売上額DI(全産業)は、前回調査(2024年7～9月期)の▲13.9から3.3ポイント低下し、▲17.2となった。業種別では前回調査から、卸売業が8.8ポイント上昇し、製造業が4.4ポイント、小売業が9.6ポイント、サービス業が8.3ポイントそれぞれ低下した。

【資金繰り】今期の資金繰りDI(全産業)は、前回調査(▲14.6)から4.4ポイント低下し、▲19.0となった。業種別では前回調査から、製造業が2.4ポイント上昇し、卸売業が7.4ポイント、小売業が1.7ポイント、サービス業が11.3ポイントそれぞれ低下した。

【業況判断】今期の業況判断DI(全産業)は、前回調査(▲19.1)から3.3ポイント低下し、▲22.4となった。業種別では前回調査から、卸売業が11.2ポイント上昇し、製造業が7.5ポイント、小売業が1.6ポイント、サービス業が12.9ポイントそれぞれ低下した。

【従業員数過不足】今期の従業員数過不足DI(全産業)は、前回調査(▲5.9)から8.6ポイント低下し、▲14.5となった。業種別では前回調査から、小売業が1.6ポイント上昇し、製造業が13.2ポイント、卸売業が6.5ポイント、サービス業が14.4ポイントそれぞれ低下した。

2. 来期(2025年1～3月期)の予想

来期(2025年1～3月期)の全産業の予想DIは、売上額▲7.5、資金繰り▲14.6、業況判断は▲19.0となった。

3. 経営上の問題点

製造業で「原材料価格の上昇」、卸売業で「仕入単価の上昇」、小売業で「仕入単価の上昇」、サービス業で「利用者ニーズの変化への対応」が第1位となった。

※DI値とは……ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、本調査では前年同期(2023年10～12月期)と比較して売上額、業況判断、資金繰りなどが「増加」「好転」したなどとする企業割合から、「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

【調査の概要】

- ・調査名：第178回中小企業景況調査（中小企業庁・中小企業基盤整備機構）
 - ・調査時期：2024年10月30日～11月19日（前回：2024年8月9日～9月3日）
 - ・調査方法：経営指導員による、調査票に基づく聴取り調査
 - ・調査対象：大阪市内の中小企業・小規模事業者
 - ※ 全国18,840件中（商工会議所調査対象7,931件）、大阪商工会議所分324件。
 - ※ 本紙では、大阪商工会議所分のうちとくに小規模事業者（従業員：製造業20人以下、商業・サービス業5人以下）269件について取りまとめた。
- 〔製造業73件、卸売業62件、小売業62件、サービス業72件〕

■DI推移（全産業）

	175回調査	176回調査	177回調査 (前回)		178回調査 (今回)	
	2024年(R6) 1～3月期	2024年(R6) 4～6月期	2024年(R6) 7～9月期	2024年(R6) 10～12月期	2024年(R6) 10～12月期	2025年(R7) 1～3月期
売上額（増-減）	-15.8	-3.6	-13.9	-2.8	-17.2	-7.5
資金繰り（好-悪）	-17.2	-11.3	-14.6	-13.2	-19.0	-14.6
業況（好-悪）	-22.1	-9.8	-19.1	-11.5	-22.4	-19.0
従業員（過-不）	-15.4	-13.5	-5.9	-	-14.5	-

■経営上の問題点

順位	製造業	件数	卸売業	件数	小売業	件数	サービス業	件数
1位	原材料価格の上昇 →	23 (19)	仕入単価の上昇 →	21 (22)	仕入単価の上昇 →	17 (12)	利用者ニーズの変化への対応 →	15 (13)
2位	需要の停滞 →	11 (16)	需要の停滞 →	11 (18)	消費者ニーズの変化への対応 ↑	10 (9)	人件費の増加 →	8 (11)
3位	従業員の確保難 ↑	9 (5)	新規参入業者の増加 ↑	5 (1)	需要の停滞 ↓ 購買力の他地域への流出 ↑ その他（円安影響による国産品の競争力低下） ↑	5 (9) 5 (3) 5 (2)	人件費以外の経費の増加 ↑	6 (3)

〔注〕（ ）内は前回（2024年7～9月期）調査結果

↑＝前回より高順位

→＝前回と同順位

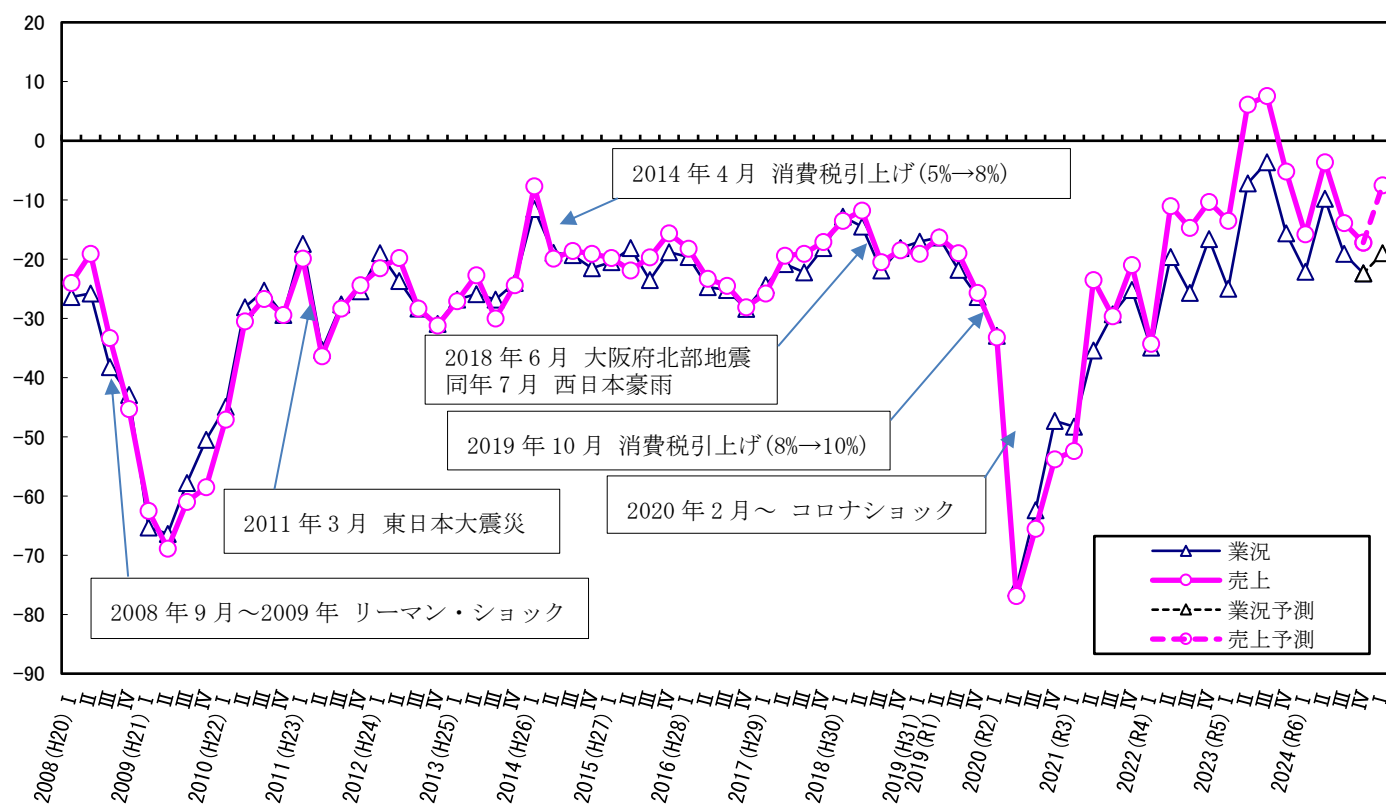
↓＝前回より低順位

■ 状況比較表（業種別）

項目	業種	今期の状況(10～12月期)				前回(7～9月期)からの推移	来期の予想(1～3月期)			
		増加	不変	減少	増－減		増加	不変	減少	増－減
売上額										
	製造業	12.5	38.9	48.6	▲ 36.1	▲ 4.4	12.5	55.6	31.9	▲ 19.4
	卸売業	27.4	40.3	32.3	▲ 4.8	8.8	25.8	46.8	27.4	▲ 1.6
	小売業	29.0	24.2	46.8	▲ 17.7	▲ 9.6	29.0	37.1	33.9	▲ 4.8
	サービス業	30.6	30.6	38.9	▲ 8.3	▲ 8.3	27.8	41.7	30.6	▲ 2.8
	合計	24.6	33.6	41.8	▲ 17.2	▲ 3.3	23.5	45.5	31.0	▲ 7.5
資金繰り	前回	22.9	39.6	36.8	▲ 13.9		26.0	43.1	28.8	▲ 2.8
		好転	不変	悪化	好－悪		好転	不変	悪化	好－悪
	製造業	4.2	70.8	25.0	▲ 20.8	2.4	1.4	72.2	26.4	▲ 25.0
	卸売業	1.6	72.6	24.2	▲ 22.6	▲ 7.4	4.8	77.4	16.1	▲ 11.3
	小売業	11.3	56.5	30.6	▲ 19.4	▲ 1.7	9.7	66.1	22.6	▲ 12.9
	サービス業	9.7	62.5	23.6	▲ 13.9	▲ 11.3	12.5	62.5	20.8	▲ 8.3
業況	合計	6.7	65.7	25.7	▲ 19.0	▲ 4.4	7.1	69.4	21.6	▲ 14.6
	前回	8.3	67.7	22.9	▲ 14.6		8.0	68.8	21.2	▲ 13.2
		好転	不変	悪化	好－悪		好転	不変	悪化	好－悪
	製造業	5.6	55.6	37.5	▲ 31.9	▲ 7.5	6.9	58.3	31.9	▲ 25.0
	卸売業	17.7	48.4	33.9	▲ 16.1	11.2	9.7	56.5	27.4	▲ 17.7
	小売業	21.0	33.9	45.2	▲ 24.2	▲ 1.6	16.1	46.8	32.3	▲ 16.1
従業員	サービス業	11.1	59.7	27.8	▲ 16.7	▲ 12.9	11.1	58.3	27.8	▲ 16.7
	合計	13.4	50.0	35.8	▲ 22.4	▲ 3.3	10.8	55.2	29.9	▲ 19.0
	前回	14.2	51.7	33.3	▲ 19.1		16.7	52.1	28.1	▲ 11.5
		過剰	適正	不足	過－不					
	製造業	1.4	71.2	21.9	▲ 20.5	▲ 13.2				
	卸売業	0.0	87.1	6.5	▲ 6.5	▲ 6.5				
	小売業	1.6	72.6	9.7	▲ 8.1	1.6				
	サービス業	2.8	68.1	23.6	▲ 20.8	▲ 14.4				
	合計	1.5	74.3	16.0	▲ 14.5	▲ 8.6				
	前回	6.6	74.0	12.5	▲ 5.9					

「今期の状況（除従業員）」は2024年10～12月期状況であり、前年同期の2023年10～12月期との比較。来期の予想は2025年1～3月期予想であり、2024年1～3月期との比較である。「前回」欄は2024年7～9月期調査の数字。従業員は、過去との比較ではなく、業務量に照らした過不足。

■景況グラフ（売上額・業況）



※表示値＝D I（増加・好転－減少・悪化）値

※Ⅰ期=1-3月、Ⅱ期=4-6月、Ⅲ期=7-9月、Ⅳ期=10-12月

※2025年Ⅰ予想値